



平成 23 年 9 月 16 日

各 位

上場会社名 株式会社ロイヤルホテル  
 代表者 代表取締役社長 川崎 亨  
 (コード番号 9713 大証第2部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 中村雅昭  
 (TEL 06-6448-1121)

## 業績予想の修正及び特別利益、特別損失の計上に関するお知らせ

本日公表いたしました「森トラスト株式会社との資本業務提携ならびに固定資産の譲渡に関するお知らせ」に記載の固定資産の譲渡に伴い、平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## ●業績予想の修正について

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)  
(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	21,200	△1,350	△1,800	△2,150	△20 円 98 銭
今回修正予想 (B)	21,200	△1,450	△1,900	△5,250	△51 円 23 銭
増減額 (B-A)	0	△100	△100	△3,100	—
増減率 (%)	0.0	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	22,535	△694	△1,149	△1,395	△13 円 62 銭

## 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	47,500	150	△800	△1,300	△12 円 69 銭
今回修正予想 (B)	47,500	△700	△1,500	△5,000	△48 円 79 銭
増減額 (B-A)	0	△850	△700	△3,700	—
増減率 (%)	0.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	48,516	439	△450	△17,942	△175 円 09 銭

2. 平成24年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成23年9月30日）  
（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	13,800	△1,250	△1,300	△1,600	△15円61銭
今回修正予想（B）	13,800	△1,350	△1,400	△4,600	△44円89銭
増減額（B－A）	0	△100	△100	△3,000	－
増減率（％）	0.0	－	－	－	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成23年3月期第2四半期）	15,005	△376	△452	△670	△6円55銭

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	32,000	△350	△450	△900	△8円78銭
今回修正予想（B）	32,000	△1,150	△1,150	△4,500	△43円91銭
増減額（B－A）	0	△800	△700	△3,600	－
増減率（％）	0.0	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	32,628	534	41	△15,168	△148円02銭

3. 修正の理由

(1) 連結

本日公表いたしました「森トラスト株式会社との資本業務提携ならびに固定資産の譲渡に関するお知らせ」に記載の通り、固定資産の譲渡により固定資産売却損約3,000百万円を特別損失として計上する予定でございます。

また、固定資産譲渡先と事業用定期借地権（期間：10年間）を設定することにより、既存ホテルの建物等の償却年数が短縮されることで減価償却費が増加すること等から経費が約700百万円増加し、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見込みでございます。

(2) 個別

「森トラスト株式会社との資本業務提携ならびに固定資産の譲渡に関するお知らせ」に記載の固定資産の譲渡により特別利益として固定資産売却益約1,900百万円を計上する予定でございます。

一方、当社連結子会社であります株式会社アール・ピー・ビルディングにおいて固定資産譲渡による固定資産売却損（約4,900百万円）が発生することから、特別損失として同社に対する関係会社株式評価損約400百万円及び貸倒引当金繰入額約4,400百万円を計上する予定でございます。

また、(1) 連結に記載の内容と同様の理由により経費が増加することから、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見込みでございます。

4. 特別利益、特別損失の計上

上記の通り、特別利益及び特別損失を計上いたします。

連結	特別損失	固定資産売却損	約3,000百万円
個別	特別利益	固定資産売却益	約1,900百万円
	特別損失	関係会社株式評価損	約400百万円
	特別損失	貸倒引当金繰入額	約4,400百万円

※上記の業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上